

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	八百津町立錦津小学校		
実 施 期 間	平成26年10月31日（金）～12月1日（月）		
実 施 概 要	① にしきつクリーンアップウォークラリー（10月31日） ② PTA資源回収（11月9日） ③ 読み聞かせ会（11月11日、14日、17日、19日） ④ 授業参観、学級懇談会（12月1日）		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input checked="" type="checkbox"/> 自然 <input checked="" type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	88 人	計 108 人
	地 域 関 係 者	20 人	
実 施 状 況	① にしきつクリーンアップウォークラリー 異年齢のなかよしグループで、地域の清掃活動しながら校区のポイント（保育園や神社など）をまわり、ゲーム等を楽しんだ。保育園では、園児とクイズやジャンケンゲームを行い、1年生からメダルのプレゼントをした。保小連携の一活動として位置付いている。 尺八名人さんの家や火の見やぐら、陶芸工房をポイントにして、尺八演奏にチャレンジしたり、火の見やぐらの役割や陶器の作り方について話を聞いたりした。 保護者がグループに付いて一緒に活動し、児童の安全を見守ってくださった。たばこの吸い殻やペットボトルなど、全児童で17.4kgのゴミを拾うことができた。		
	② PTA資源回収 小雨の降る中での回収作業であったため、児童は、自宅や地域での回収活動を手伝った。保護者と一緒に回収場所まで来て、車からの運搬を手伝った児童も数人いた。雨の中、多くの保護者や地域の方々の協力で資源を回収できたこと、収益金が自分たちの教育活動の備品になっていることを伝えた。		
	③ 読み聞かせ会 「図書祭り」の企画の一つで、保護者や職員、八百津町のボランティアによる読み聞かせを行った。特に八百津町の読み聞かせボランティアの皆さんは、絵をスクリーンに映し出したりペープサートを使ったりと工夫され、楽しい読み聞かせ会になった。秋の恒例の行事になっており、児童は毎年、楽しみにしている。		
	④ 授業参観、学級懇談会 授業参観により、児童の頑張りを保護者や地域の方に見ていただくことができた。6年生は、年間通して練習してきた和太鼓演奏を披露した。指導者は、可児在住で校区に仕事場がある地域の方である。毎週、指導に来てくださり、和太鼓の演奏の仕方や心構えなど、熱心に指導していただいた。授業参観にも来ていただき、児童と一緒に演奏していただいた。		

成果及び課題

《成果》

- にしきつクリーンアップウォークラリーでは、尺八名人と出会ったり火の見やぐらや陶器作りについての話を聞いたりして、地域についての新しい発見があった。保護者の方も、知らなかったことが多くあり、親子共に自分たちの地域への関心と誇りを高めることができた。
- 何袋ものゴミを全校で拾うことができ、それだけ、自分たちの手で錦津の町を美しくすることができたという喜びを感じることができた。児童が清掃活動をしている姿に感銘し、わざわざ声をかけてくださるお年寄りもいた。
- にしきつクリーンアップウォークラリーや資源回収を通して、多くの保護者や地域の方に支えられて、自分たちの活動が成り立っていることを自覚し、感謝の気持ちをもつことができた。
- 保護者や町のボランティアの方の読み聞かせを通して、本に親しむことができた。素敵なお読み聞かせをしてくださった方々に手紙を送り、感謝の気持ちを表すことができた。
- 授業参観の和太鼓の発表では、保護者の方に児童の頑張りを知っていただくよい機会になった。毎週指導してくださる太鼓名人さんと保護者の方が出会う機会にもなり、地域の方とつながるよさや体験学習の素晴らしさを感じていただくことができた。

《課題》

- ・にしきつクリーンアップウォークラリーは、児童の安全面に十分な配慮が必要となる行事であり、保護者や地域の方の協力が欠かせない。今後も、多数の方に参加していただけるよう呼びかけていきたい。また、どんな危険が潜んでいるかを多岐にわたって想定し、それに対応するきめ細かな計画や準備を進めていくようにしたい。